

普及現地情報

発信年月日：平成 29 年(2017 年)8 月 8 日
所属名：湖東農産普及課
番号：F17010
部門分類：150(野菜)
発信者名：川村、中川

野菜作付 1ha 以上/経営体 を目指して「水田野菜栽培研修会」を開催

8 月 3 日、彦根市薩摩町のキャベツ圃場で、当課主催による「水田野菜栽培研修会」を開催しました。研修会には、野菜作付 1ha 以上を目指す 10 経営体、13 人が参加、収量向上のための栽培管理のポイントを確認しました。

当課では平成 24 年より担い手の収益向上を図るため、水田野菜の栽培推進を行い、1ha 規模以上の作付けを行う経営体の育成を進めています。その中で問題となっているのが、圃場の排水不良や水稲との労働力競合による作業の遅れです。

今回の研修では、排水対策や病害虫防除などの栽培管理のポイントを説明した後、現地圃場で排水対策の実施状況を確認することで、より実践をイメージしやすくしました。また、本年度から取り組むレーザーレベラーで圃場に傾斜をつけた排水対策の実証についての説明を現地で行い、理解を深めました。

参加者からは、水田野菜栽培を行う上で課題となっている排水対策や雑草防除に対する質疑が多くされ、参加者の理解が進んだと考えられました。

更に、参加者より、これまで現地で生産者が集まり情報交換をする場が少なかったため、今後も定期的に研修会を開いていただきたいという声があり、見学各所で参加者同士の情報交換が行われていました。今後も水田野菜が経営の柱として成長するよう、水田野菜栽培の技術向上に向けた支援や研修会を開催していく予定です。



レーザーレベラーで傾斜をつけた
キャベツ定植ほ場の見学